

# 質問紙調査

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

## 1 結果の概要

全国と比べて、本市の児童生徒の自尊意識や規範意識は、やや低い結果となっているが、規則やきまりを守ることについては、児童においては平成27年度、生徒においては平成25年度小6時と比較しても高い。(注:生徒(中3)については、平成25年度小6時と比較し、経年変化をみた。[平成28年度中3生徒と平成25年度小6児童は同一の子どもたち])

家庭学習について、家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、全国よりやや低い。

生活習慣について、朝食を欠食する児童生徒の割合がやや高い。テレビの視聴時間やゲームをする時間、メールやインターネットをする時間は、全国と比べて長い。児童生徒ともに平成27年度及び生徒においては小6時調査(テレビ・ビデオ等の視聴時間のみ)と比較すると短い。

地域・社会への興味・関心については、全国と比較するとやや低い。前年度と比較するとやや高い。

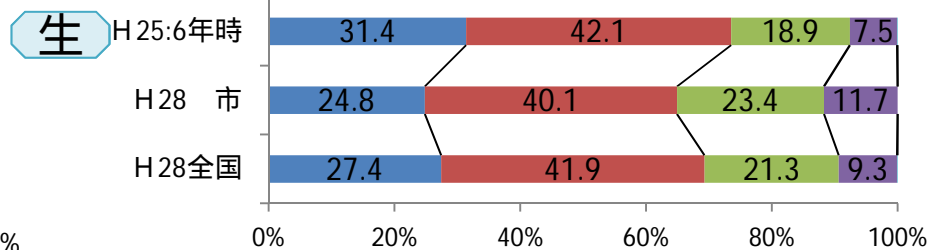
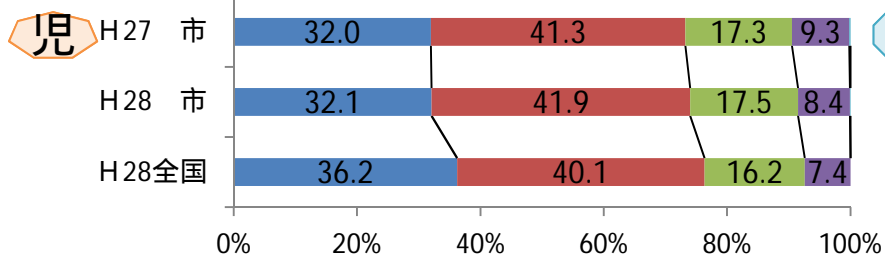
**児** 児童質問紙

**生** 生徒質問紙

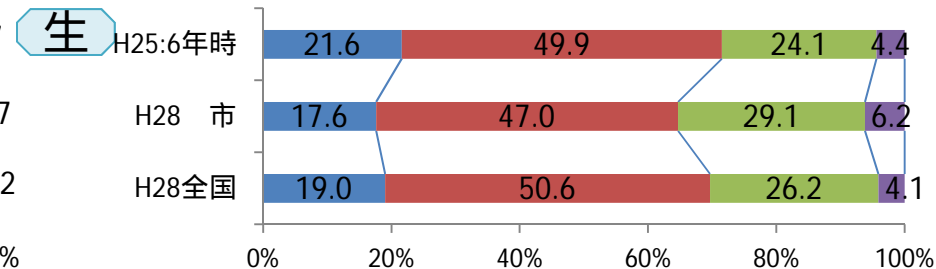
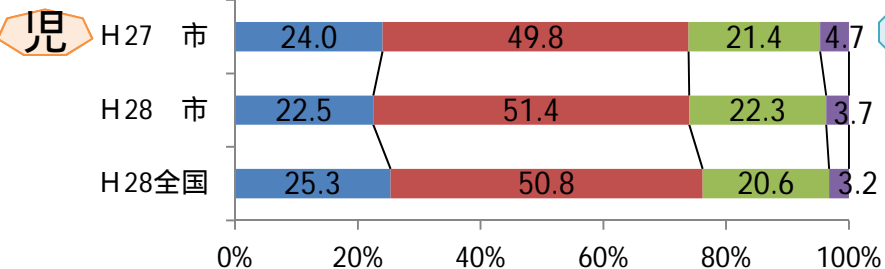
## 2 結果からみえてきたこと ( )は問題番号

### (1) 自尊意識

**Q** 自分には、よいところがあると思いますか(6)



**Q** 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか(5)



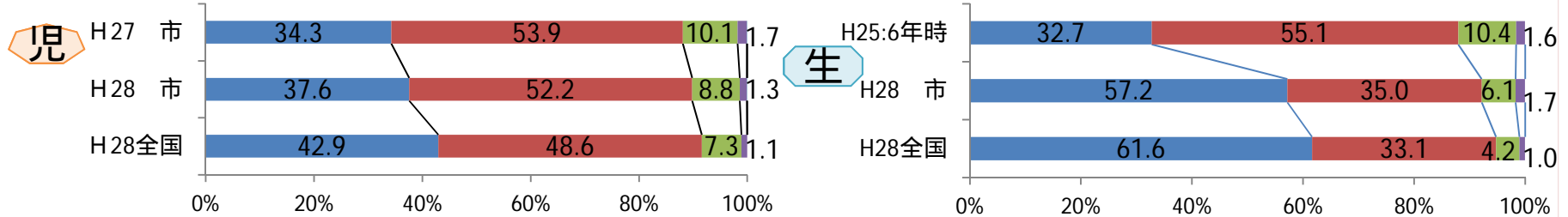
自分にはよいところがあると思うか、という質問において、「当てはまらない」と答えた児童生徒が約1割存在します。よいところや努力しようとする態度を褒めたり、また結果だけでなく取り組んでいる過程を見守っていることを子どもに伝えることが大切です。

2 結果からみえてきたこと [ ]は問題番号

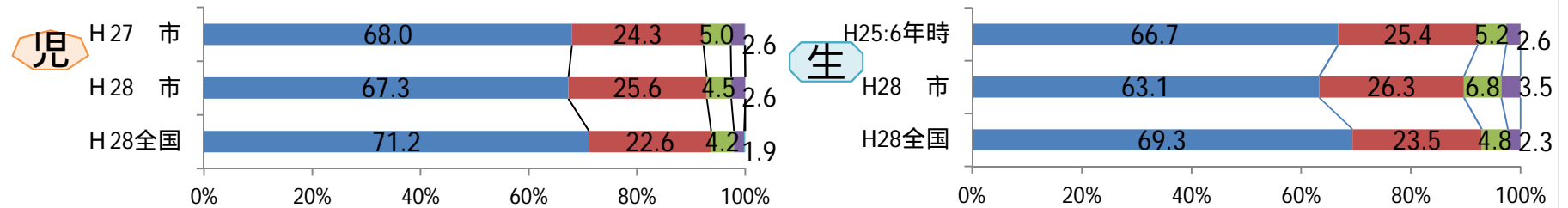
(2) 規範意識

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

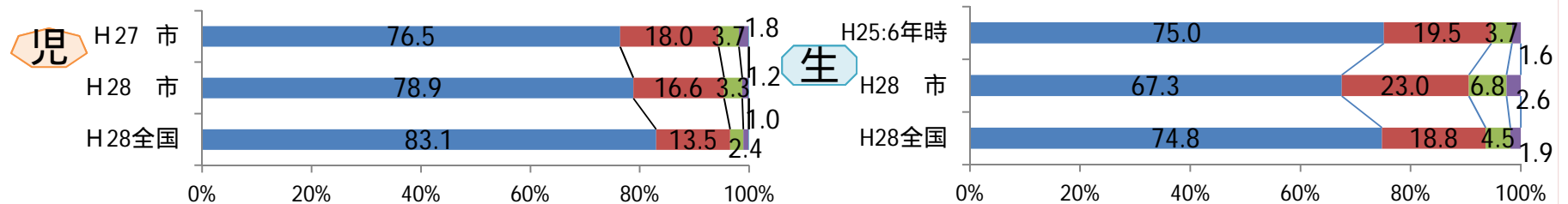
Q 学校のきまり[規則]を守っていますか(39)



Q 人の役に立つ人間になりたいと思いますか(43)



Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(42)



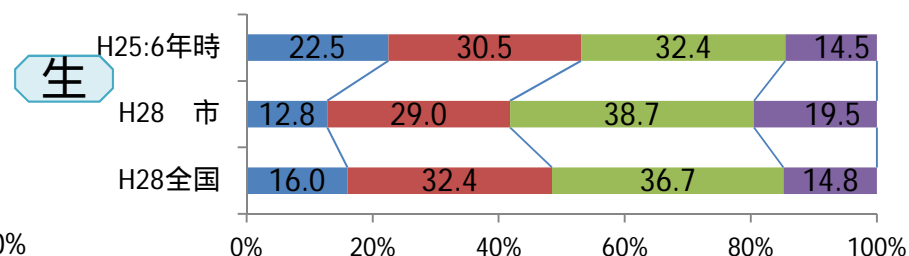
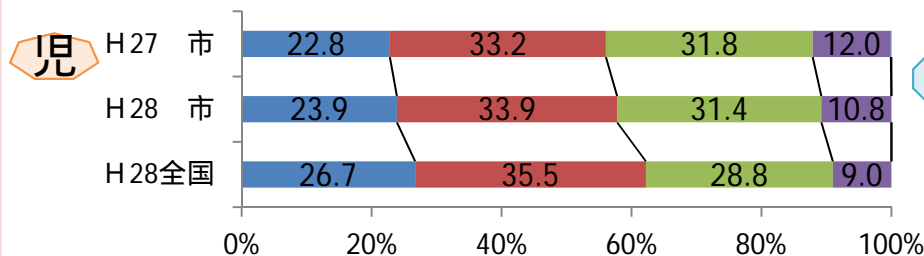
「学校のきまり[規則]を守っているか」、また「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という質問に対し、「当てはまる」と回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向がみられます。本市では規範意識を高めるための取組の一つとして、「いじめ防止フォーラム」を開催したり、各学校では人権教育の推進、あいさつ運動等を行っています。子ども一人ひとりの思いや考えを受け止めながら、人とのかかわり方について、「なぜそう思うのか」「周りの人はどう感じるだろう」など、自分を大切にするとともに、周りの人を大切にすること、互いを認め合うことについて考えを深めるコミュニケーションが大切です。

2 結果からみえてきたこと [ ]は問題番号

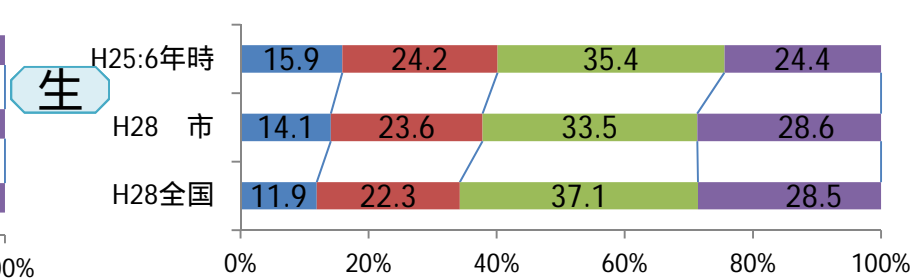
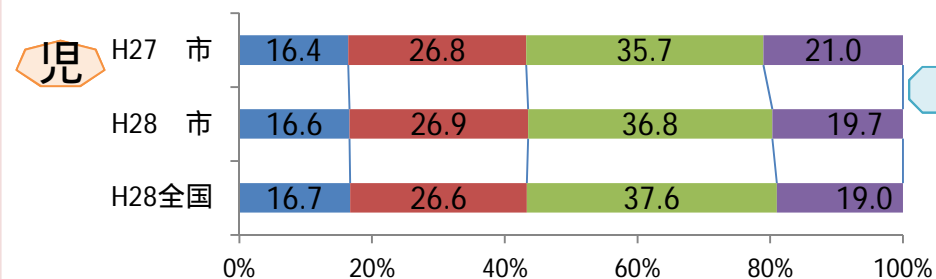
(3) 家庭学習



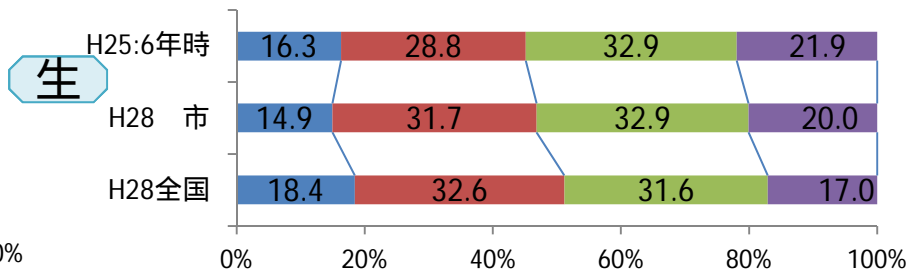
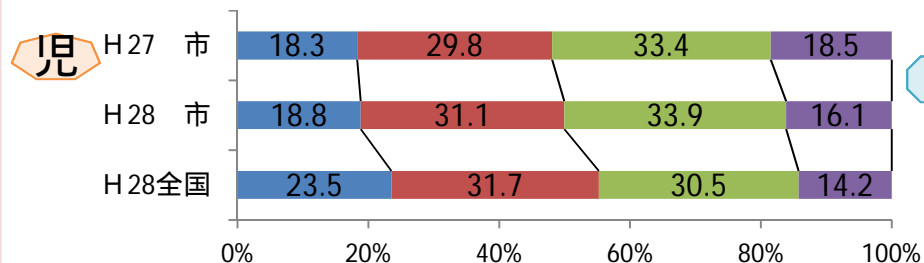
Q 家で、自分で計画を立てて勉強していますか(21)



Q 家で、学校の授業の予習をしていますか(23)



Q 家で、学校の授業の復習をしていますか(24)



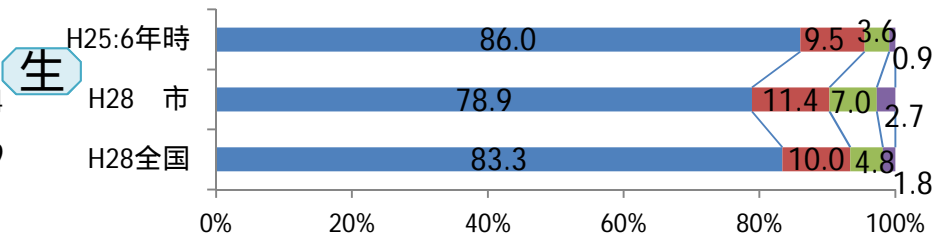
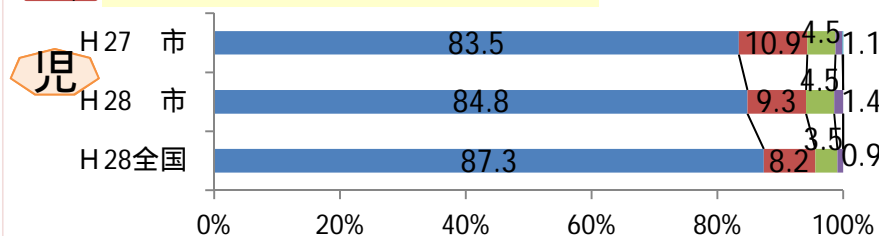
家庭学習に関して、本市の経年変化の傾向として、「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童生徒の割合は増加傾向にあります。1日に短時間でも机に向かい、宿題や予習、復習等をする習慣や態度を身に付けられるよう、学習塾等での学習も含め学校外で行う学習の計画について、ご家庭で言葉をかけたり話し合ったりしていただき、落ち着いて学習に取り組める環境を整えることが大切です。

2 結果からみえてきたこと [ ] は問題番号

(4) 基本的な生活習慣

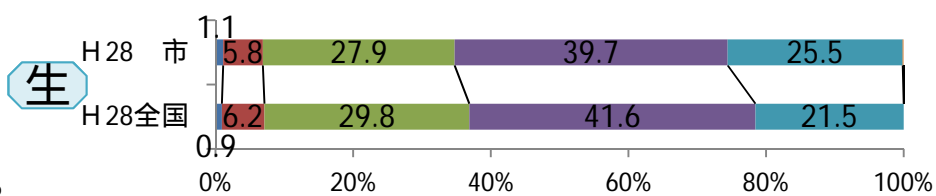
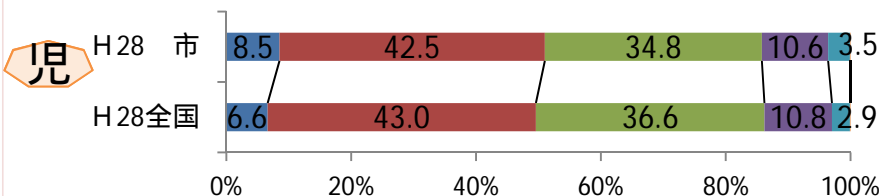
Q 朝食を毎日食べていますか(1)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

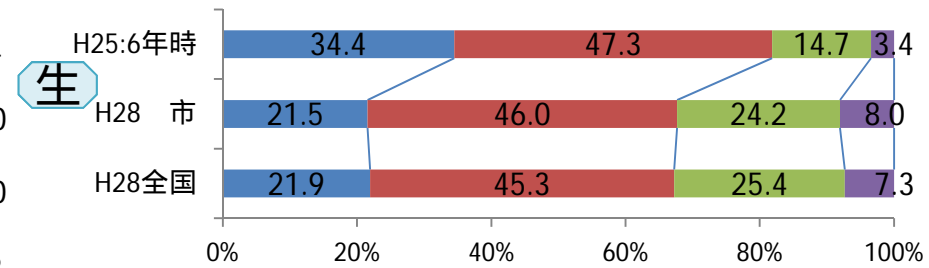
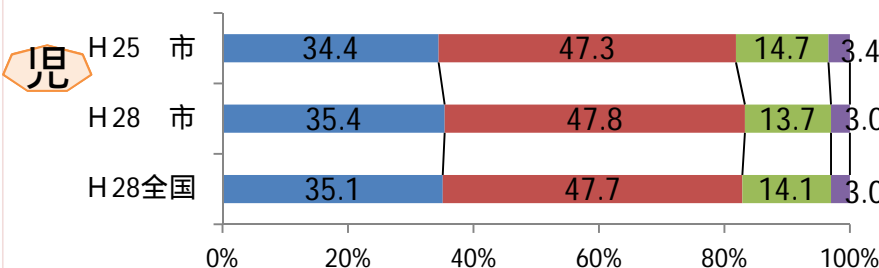


Q 普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(10) (注: H27は質問無し)

■ 午後 9時より前 ■ 午後 9時～午後10時より前 ■ 午後10時～午後11時より前  
 ■ 午後11時～午前 0時より前 ■ 午前 0時以降



Q 家の手伝いをしていますか(20) (注: H26～27は質問無し)

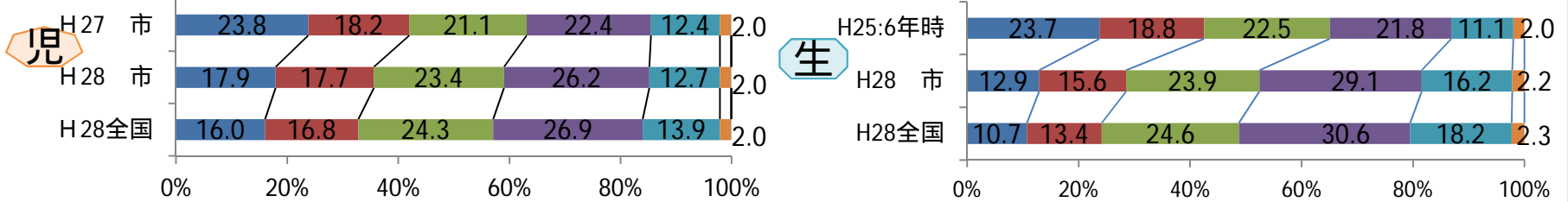


朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全国と比べると少ない状況にあり、「当てはまらない」と答えた割合も多い状況です。また、平日の就寝時刻が午前0時以降と答えた児童生徒は、全国と比べると多い状況にあります。望ましい基本的な生活習慣の確立は、健全な心と体を培い豊かな人間性を育む基礎となるものです。子どもの生活習慣は、家庭の影響を受けていることも考えられますので、家庭でできることについて、子どもと一緒に話し合う機会をつくるのが大切です。

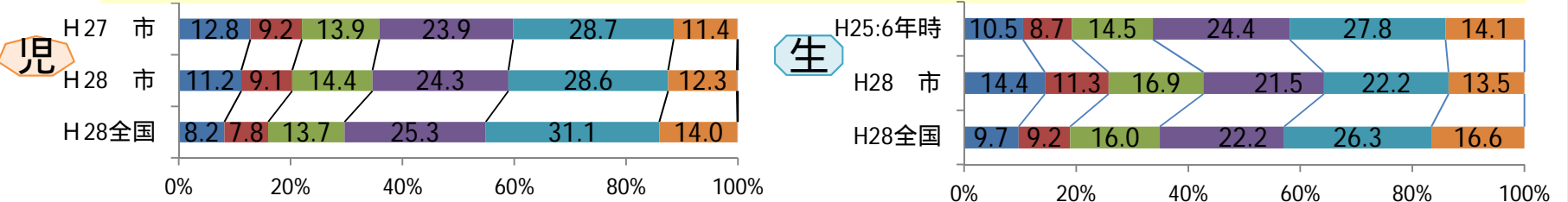
2 結果からみえてきたこと [ ] は問題番号

■ 4時間以上 ■ 3時間以上4時間未満 ■ 2時間以上3時間未満 ■ 1時間以上2時間未満 ■ 1時間未満 ■ 全く見たり聞いたりしない

**Q** 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(11)

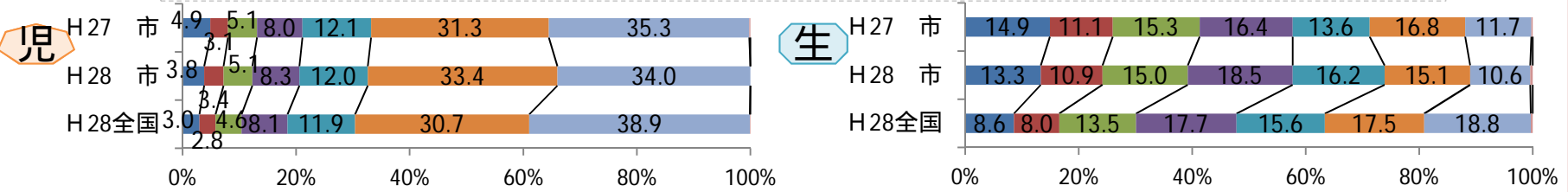


**Q** 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(12)



**Q** 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(13)  
(注: H25は質問無し)

■ 4時間以上 ■ 3時間以上4時間未満 ■ 2時間以上3時間未満 ■ 1時間以上2時間未満  
■ 30分以上1時間未満 ■ 30分未満 ■ 携帯電話やスマートフォンを持っていない

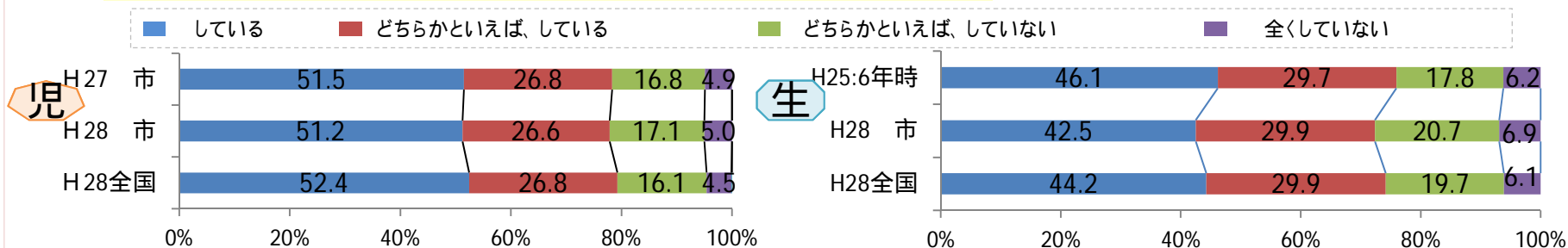


全国と比べて、携帯電話やスマートフォンを持っている児童生徒の割合が多いことが影響していると考えられますが、テレビやゲーム、メールやインターネットに4時間以上費やしている児童生徒の割合がやや多い状況にあります。過度な利用による生活習慣の乱れや通信機器を通じたトラブルを起こさない環境をつくるために、生徒が中心となってルールを作成した中学校の取組では、インターネットの使い方や友人や家族とのコミュニケーションについて、よりよいあり方を考える機会となっています。テレビ視聴やゲームをする時間、携帯電話の利用等について、家庭においても話し合い、見守り続けることが大切です。

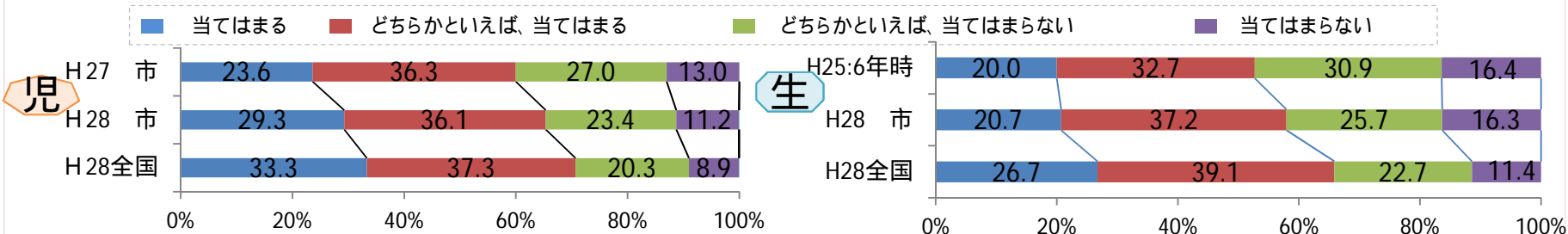
2 結果からみえてきたこと [ ]は問題番号

(5)家庭でのコミュニケーション、社会に対する興味・関心

**Q** 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか(19)



**Q** 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか(35)



「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」という質問に対し、「当てはまる」と回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向にあります。学校での出来事や日常の様子に加えて、地域や新聞等の情報について家庭で話題にしていただき、子どもの考えを聞くとともに多様な価値観などについて話し合う機会をつくることが大切です。

課題の改善に向けて、ご家庭で取り組んでいただきたいこと

家庭では、学校での出来事や社会で起きている出来事等を話題にし、子どもの思いや考えを聞きながら、多様な価値観の存在について話し合うなど、コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。また、学校外で行う学習（家庭学習や学習塾等での学習）の計画について、言葉をかけたり話し合ったりしていただきたいと思います。

基本的な生活習慣は、子どもの心と体の健康、発育発達、体力や学力にも大きく影響します。家庭における子どもの生活習慣を振り返り、早寝早起き朝ごはんの習慣を大切にしましょう。

学校から帰宅した後の時間の使い方について、テレビ視聴やゲームをする時間、携帯電話の利用等について、子どもと大人が継続して話し合い、大人が見守ることが必要です。また、子どもと地域がつながることのできる環境づくりについて、学校・家庭・地域が一体となって考えていきましょう。



# ご家庭でも話し合ってみませんか

今年度の調査では、下のグラフにみられるように、児童生徒に対する質問紙調査（以下、児童生徒質問紙）において、朝食の喫食や生活習慣については、肯定的な回答（朝食を毎日食べている、就寝時刻が早い、ゲームを行う時間が短い）をした児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向にあるという結果がみられました。しかし、本市の児童生徒質問紙の結果を見てみると、以下に示す質問をはじめ、多くの質問において、肯定的回答の割合が全国よりも低い状況にあります。

ご家庭においては、朝食や睡眠の大切さ、また、学校から帰宅した後の時間の使い方等についても話し合ってください、子どもたちが規則正しい生活習慣を身に付けることができるようご協力をお願いいたします。

数字は平均正答率

小学校

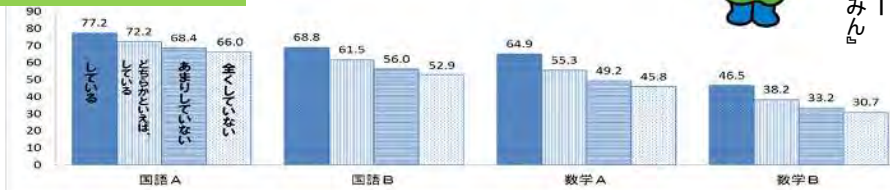
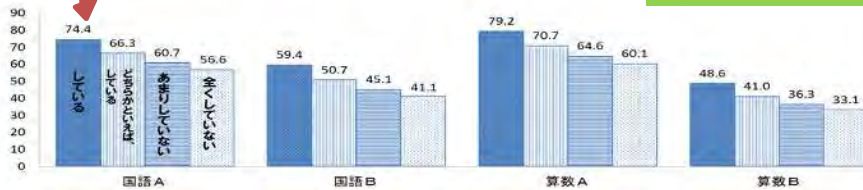
規則正しい生活習慣が与える学力への影響

中学校

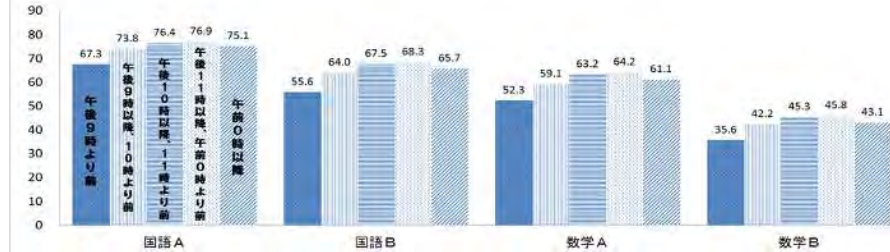
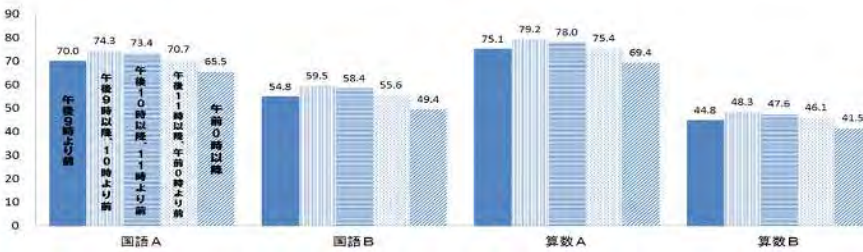


相模原市マスターキャラクターがみん

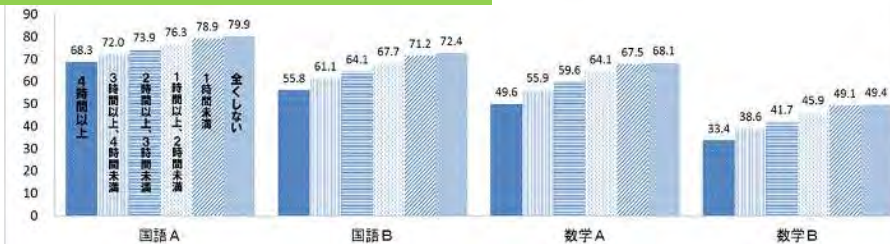
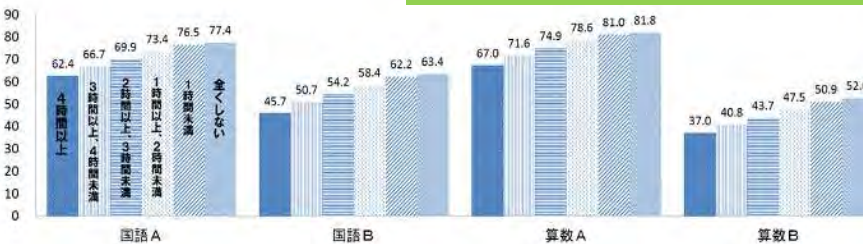
## 朝食を毎日食べていますか



## 普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか



## 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



平成28年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙 [選択肢別平均正答率]より(報告書記載)  
生活習慣に関する質問に対しての回答状況と教科の平均正答率の関係(全国の調査結果)



# 家庭学習に落ち着いて取り組める環境づくりを！

下のグラフにみられるように、児童生徒質問紙において、肯定的回答（「している」「どちらかといえば、している」）をした児童生徒においても、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向にあるという結果がみられました。

子どもたちが、学校の宿題や予習・復習など、自分で計画を立てて学校外で行う学習（家庭学習や学習塾等での学習）ができるよう言葉をかけていただくとともに、落ち着いて家庭学習に取り組める環境づくりをしていただき、学習習慣を身に付けられるようご協力をお願いいたします。

## 家庭学習の取組と学力への影響

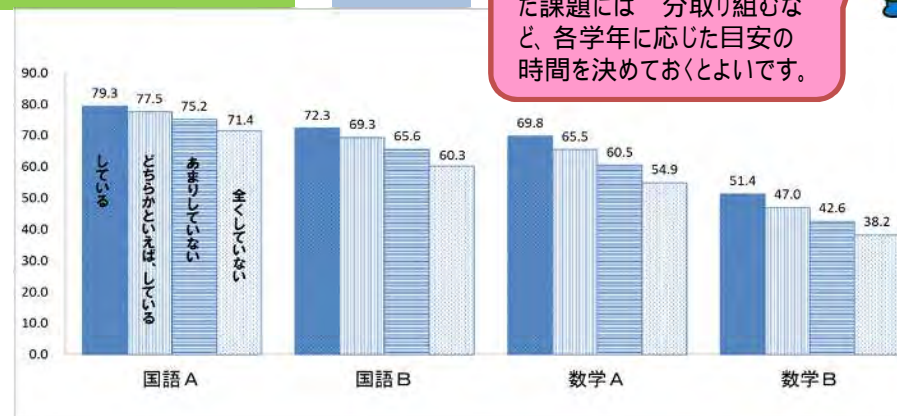
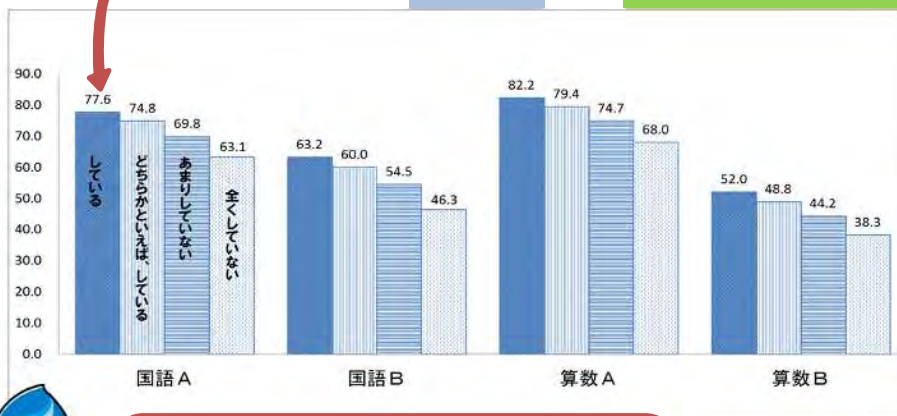
数字は平均正答率

小学校

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

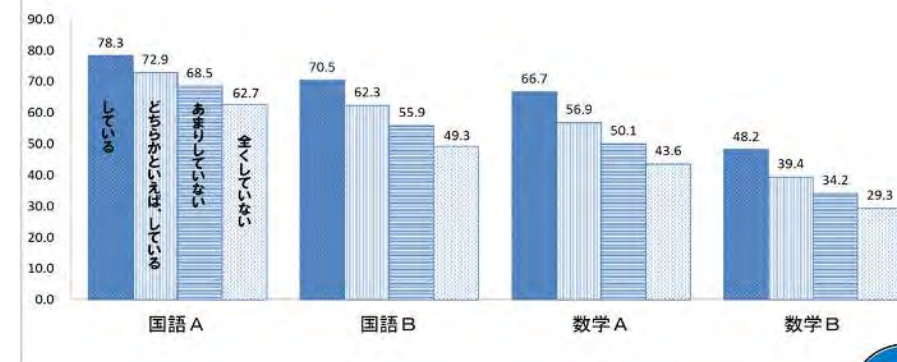
中学校

宿題には 分、自分で立てた課題には 分取り組むなど、各学年に応じた目安の時間を決めておくといいです。



宿題の内容や宿題の出され方は様々です。お子さんが宿題に取り組んでいましたら、言葉をかけていただき、励ましていただくようお願いいたします。

家で、学校の宿題をしていますか



平成28年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙 [選択肢別平均正答率]より(報告書記載)  
学習習慣に関する質問に対する回答状況と教科の平均正答率の関係 (全国の調査結果)





# 家庭学習に落ち着いて取り組める環境づくりを！



## 家庭学習の取組と学力への影響 ②

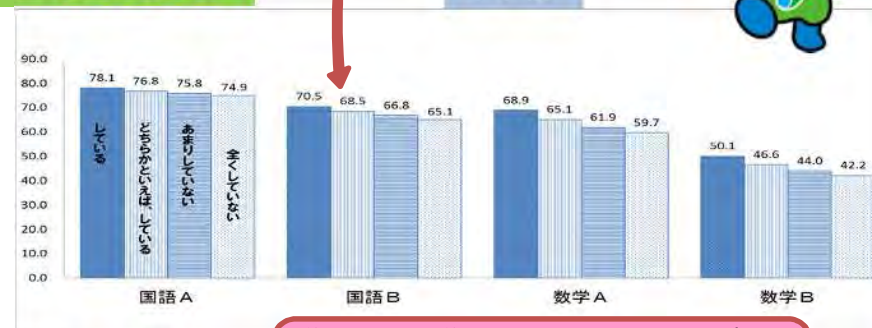
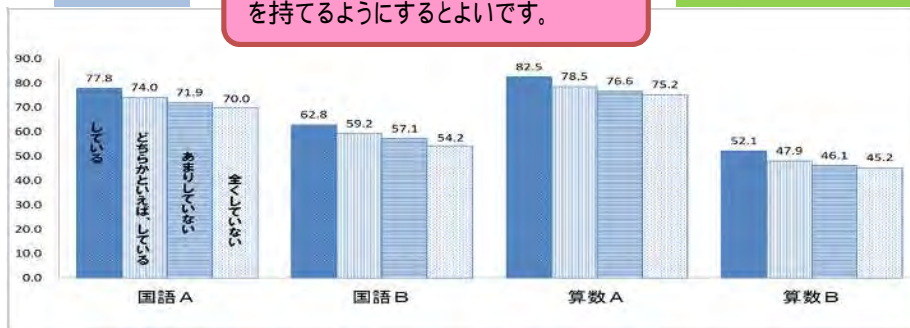
※数字は平均正答率

小学校

教科書を使い、次の授業の見通しを持って行うとよいです。

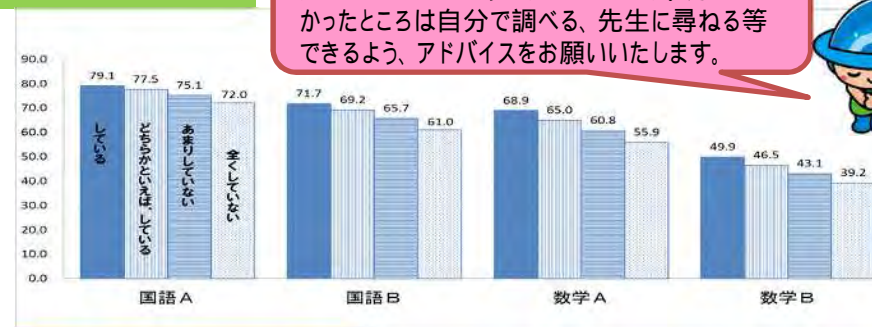
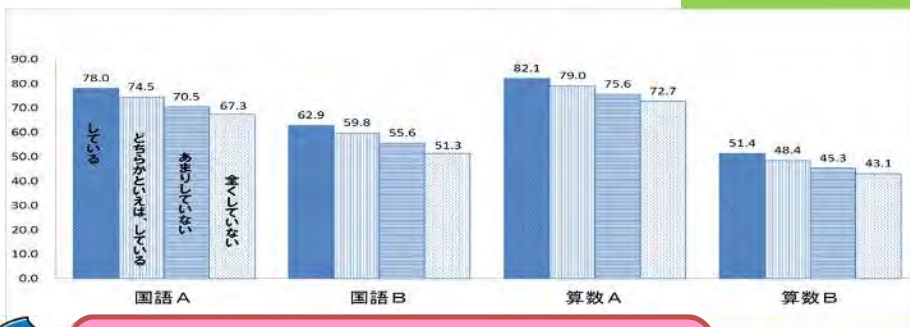
家で、学校の授業の予習をしていますか

中学校



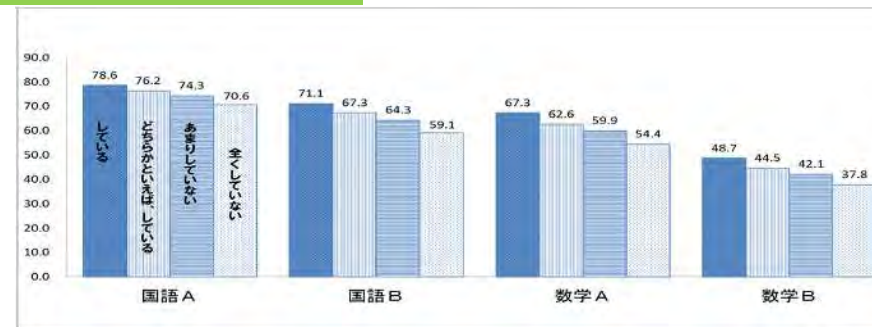
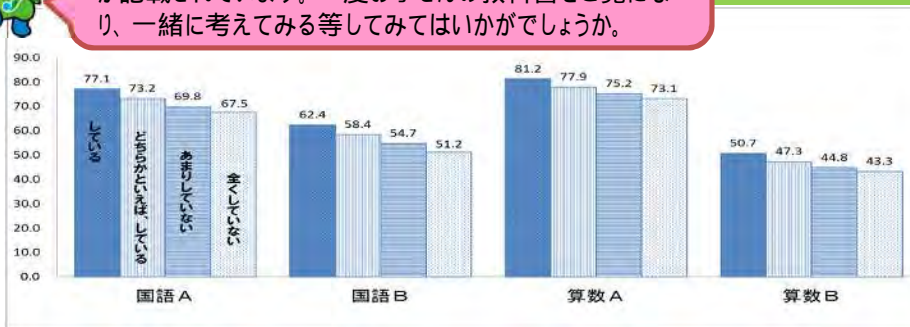
家で、学校の授業の復習をしていますか

分かったこと、分からなかったことをしっかりと振り返ることができるようにするとよいです。分からなかったところは自分で調べる、先生に尋ねる等できるよう、アドバイスをお願いします。



教科書には、繰り返し学習や知識・技能を活用する学習、発展的な学習に子どもが自ら取り組めるような内容が記載されています。一度お子さんの教科書をご覧になり、一緒に考えてみる等してはいかがでしょうか。

家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか



平成28年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙 [選択肢別平均正答率]より(報告書記載)  
学習習慣に関する質問に対する回答状況と教科の平均正答率の関係(全国の調査結果)